

コラム

みやちゃん と ご一緒体験記

Vol.43

【ジェンダード・イノベーション】

“みやちゃん”こと宮原富士子さんと仕事をご一緒し、医療人ではない私（桑島まさき）の視点で描くこのコラムが始まったのは、2019年8月。超多忙のみやちゃんとは実際、あまりご一緒できておらず、コロナ禍ではオンラインで会っておりますが、連絡は密にとりあっております。オンラインで会う（見る）ことがない日がありますが、みやちゃんは車で台東区内在住の患者さんにお薬を届けているので、その途中で私が歩いているのを見ることがよくあるそうです。私の方は全く気付かないのですが……。

とにかく動きが迅速なためついていくのがヒイヒイ。次々に新企画や聞いたことのない言葉が浮上します。最近では、確か「アドボカシー」。ご存じのとおり、「アドボカシー」とは、自身がこうありたいと望む変化の実現のために、社会や個人に対して働きかけること。

それから、「ジェンダード・イノベーション」。先月、みやちゃんのオフィスでハイブリットのがん哲カフェが行われた際、「“ジェンダード・イノベーション”っていう言葉、聞いたことある？」とみやちゃんがいうので、本当は聞いたことがなかったのですが、見栄を張って「聞いたことありますが、よくは理解していません」と私。

現在、みやちゃんの活動をまとめる本の製作が進んでいるのですが、肝心のみやちゃんが多忙のためインタビューや聞き取りの時間がとれず停滞気味。そんな中、この「ジェンダード・イノベーション」が登場したのでした……。

「ジェンダード・イノベーション」(GI) とは、性差を生物学的・社会的に分析して技術革新に繋げる動きのことで、医療の現場では特に重要、既に日本でも注目され採用されはじめています。同じ病気にかかっても男女で治療経過や薬の副作用などに違いがでることに注目した「性差医療」については、みやちゃんは以前から勉強会や講演などで声を大にしています。

***** 2023-1-28 宮原富士子FB*****

**【女にとっての人生会議@薬剤師は専門家としてアドバイスできるのか
質問に対して、アフターフォローについて】**

昨日、経口中絶薬申請に向けての大きな前進がありました。

まもなく緊急避妊薬のOTC化も実現するでしょう。HPVワクチンの適正な普及も望めます。生殖医療

【不妊治療】の保険適用も始まり関連医薬品の使用上注意改訂もされ始めています。実践使用例と副作用報告からこの注意改訂も進んでいくということで適正な動きと思います。避妊、緊急避妊、不妊治療、HPVワクチンの接種、妊娠、出生前診断、中絶、出産、産褥期、産後の仕事、SRHRの概念から考えても、女性には大切な場面が若い時から山積していて、まさにそれは人生会議の連続ともいえるのではないかと。歳を取ってから自分の生き様を考えるには、生まれてからその時に至るまでの、自己決定や哲学の中での自分自身への問答や一人に言えない苦しみそうゆうものがあっての人生会議。

であれば、そのプロセスの中で、女性が遭遇するところにおいて身近な相談者は必要かもしれない。こと「避妊、緊急避妊、不妊治療、妊娠、出生前診断、中絶、HPVワクチンの接種」多くが、医薬品が関与している分野である。薬剤師はそのことにどう対峙してゆくのか、生活習慣病の治療という概念とは全く違う、倫理やSRHRの概念を土台にした、アドバイス。どうとらえてゆくのか。さらに薬剤師業界はジェンダーギャップの低さが極めつけに存在する。声をあげたい女性の薬剤師、いや様々な人に言えない経験をした女性が医薬品の専門家として存在する意義は、非常に大きいのではないだろうか。一般市民の女性、女性のパートナー、家族への女の人生会議への支援。そんなことをもう一度考えてみるときがやってきたのではないだろうか。大きな動きのあった1日。

ということで、みやちゃんが理事長を務めるHAPのイベントでは、この「ジェンダード・イノベーション」絡みが多くあります。ご関心をお持ちの方は是非、耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

★女性のためのNPO法人HAP

<http://www.hap-fw.org/>